

第1回つくば市産業戦略会議要旨及び今後の対応

議題1 つくば市産業戦略進捗状況について

【安心して事業を継続・発展できるまち】

委員発言要旨	事業承継アンケートをとった先の分類なども資料にあるが、どの産業に何を重点的にやるのか、負の部分をもどのくらい想定し、施策でどれくらい積み増しするのかを定量的に把握して、施策としていれていく必要がある。
事務局回答要旨	事業承継のアンケートを実施した時点では、事業者がどの程度意識をもっているかも含めて率直に聞くため、メインターゲットや職種を決めずアンケート送付した。実施の結果、業種も千差万別であり、個別支援に力を入れていこうと考えている。
今後の対応	→重点プロジェクト1に記載

委員発言要旨	事業者は情報が不足していると感じる。市や商工会がDMや広報誌、HP等で情報発信しても、事業者側では届いても見ていないなど、正直もったいない印象を持っている。情報を受け止めてもらえるような情報発信の場が必要。
事務局発言要旨	紙媒体、HP等種々工夫して発信はしているが、全てを賄うところまではいっていないのが実態。一方で、事業者がまさに今必要としている補助金はすぐ枠が埋まる等、興味がある情報へはたどり着いている。HPの情報をタイムリーに更新するなど、職員も緊張感をもって取り組みたい。
今後の対応	事業者が求める情報を遅滞なく打ち出せるようHP等の更新をし、注目度の高いページに関連情報や周知させたい情報を紐づけていく。また、事業者へのアンケート調査等を実施する際に、事業者が活用可能な支援情報等の紹介を組み込み、市からの情報が目に留まるような仕掛けを行う。

【新たにチャレンジできるまち】

委員発言要旨	コロナの影響でリアルの場が持てなかった施策もあったとのことだが、今後はオンラインも参加の選択肢のひとつと捉えてほしい。つくば市以外のつくば市に関心のある方や、外国の方なども参加しやすい機会となるため、オンラインを当然の場としてツール整備していく必要がある。
事務局回答	コロナの影響は、コロナだからできなかったもの、コロナの中に

要旨	において優先度を落としたもの、大きく分けて2種類ある。web 会議を含めて、オンラインの方が都合や効率がよい面があるものは継続したい。ハイブリッドも含めて、今後の事業展開に取り入れていく。
対応	with コロナにおいて、オンラインでの施策実施がスタンダードとなっていくことや、全世界と繋がれる利点などを鑑み、ハイブリッドも含め取り入れていく。

【世界の未来をつくる新たな科学・技術・人材が生まれるまち】

委員発言要旨	支援機関へ相談に来る人のなかには、別の支援機関の方がノウハウあるのでは、という方もいるが、学生等目的の施設まで行くことがハードルとなるケースがある。今後中心市街地や、市役所でも支援を受けられるようになるとよいと思う。
事務局発言要旨	なし
今後の対応	各支援機関における連携をより密にし、情報共有を図りたい。また、今後まちづくり会社との連携や、オンラインの活用により、一層創業相談が受けやすい環境を整えていく。

委員発言要旨	スタートアップ施策も産業戦略に含まれると思うが、全国にスタートアップシティを打ち出している市も多いので、特色を出さないと埋没してしまう。つくばでは、医療、スポーツの関係をやっているスタートアップが多いように思うので、健康スタートアップシティ、といったスローガンで特色を打ち出してもよいと思う。
事務局回答要旨	市内には製薬大手企業も立地しているので、医療系のスタートアップや健康系のスタートアップとかけあわせられるとおもしろいのではと思っている。双方のニーズ調査を実施してからにはなるが、着手していきたい。
対応	つくばの特色として、日本で唯一の研究学園都市を生かした「ディープテック」といわれる幅広い分野の研究開発型スタートアップが特色として挙げられる。これらを支援するため、2020年に筑波大や国研、金融機関などと連携して「つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム」を立ち上げた。その中で、医療・ライフサイエンス系を含め、今後も市場が伸びると想定される分野の絞り込みを行い、支援することを検討している。

【地域産業人材が集まり・定着していくまち】

委員発言要旨	次世代の人材育成について、進捗についても C 評価のものが多く、あまり進んでいない印象を受ける。
事務局回答要旨	人材育成について、施策検討中のものが多いが、今現在したためているネタがあるわけではない。課題であると認識しつつ、着手できていない。
対応	ワンストップ経営相談窓口における継続的な支援及び、各種支援制度に関する情報発信を行うとともに、アンケートを実施し各事業者が抱える人材育成に関する課題等の把握を行う。

委員発言要旨	<p>■外国人の人材受け入れの支援や、小中学生への企業訪問など今後具体的に行われていくのか聞きたい。</p> <p>■市内学生等をターゲットとして、市内の中小企業を紹介するイベントを市が主体でやってもらいたい。市内には研究者相手に様々なおもしろいことをやっている企業があるにも関わらず、それを知らない学生が多いので、市の力添えで PR していければ。</p>
事務局回答要旨	外国人材も含め、これまで市内企業を知っていただく機会を持てていなかったため、今後そういう機会を設けたいと考え、筑波大学と調整している。また、中高生から企業を知っていただく、市外の方に知っていただく機会は大変重要と考えており、計画年度中に事業着手、実行していきたい。
対応	筑波大学と連携し、留学生と市内企業の両者の情報を共有する機会を設けるとともに、WEB サイトによる市内企業の情報発信を行う。→重点プロジェクト4に記載

委員発言要旨	体育学群、芸術学群といった特色ある人材をどう地元に残すかが大事だと思っている。バイト等でもよいので、市内企業を学生に知っていただく橋渡しのような制度を設けられると良い。
事務局発言要旨	我々も体育学部や芸術学部などの学生がほしいと思う方がどのくらいいるのかに着目し、調査をした。大学側と意見交換するなかで、体育学部などでは、バイトであっても競技を続けながら市内に残って仕事がしたい学生もおり、そういう学生を受け入れる企業がないかという話があった。芸術学部の学生は、製品デザインのみならずオフィスの空間デザインができる学生もいると考えており、需要があると考えている。今後アンケート結果に基づき事業をやりたい。

対応	採用に関するアンケート結果をもとに市内企業へ聞き取りを実施し、施策実行につなげる。
----	---

委員発言要旨	県内出身で県外へ進学した学生は、県内企業と出会える機会が少なく、1社のために訪問するのも手間なので、複数社と出会える機会があればありがたい。学生側はオンラインでもよい、ではなくオンラインが普通、となってきたので、学生向けのオンライン就活に力を入れてもよいと思う。
事務局発言要旨	就職イベントのリアル開催時のブース設営費用を広告へ回したところ、都内の学生からも申し込みが増えたので、継続してやっていく。事業のPRの手法は、事業の特徴や地域の特徴もあるので、うまく判断しながらやっていきたい。
対応	就職フェアをオンライン開催したことで、参加者が対面時より大幅に増加したため、今後も継続してオンラインを活用する。

【全体】

委員発言要旨	戦略全体の見直しをかける時期にきており、Dの内容は棚卸する必要がある。様々な状況で無理なので「中止」、力を入れないと進まないが進めるべきものは「継続して力を入れる」、新型コロナの影響であると整理して、「収まり次第やる」、という3択で決めていく必要がある。
事務局発言要旨	Dの施策に関して、現段階で中止の判断にまで至る内容のものはないと考えている。力を入れてやっていくのか、コロナ収束後に動き出すのか、Dの施策については今後の展開をうたいたい。
対応	<ul style="list-style-type: none"> ■インバウンドに対応した環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> →新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では優先度を下げ、情勢が収まり次第セミナーや事例紹介に着手する。 ■地域情報誌との連携 <ul style="list-style-type: none"> →連携の内容について他施策とも組み合わせて協議のうえ、実施効果について検討する。 ■クラウドファンด์実施支援 <ul style="list-style-type: none"> →スタートアップパークでのイベント(セミナー等)により、事業者の資金調達法として認知されることを目指す。 ■シニア受入支援事業 <ul style="list-style-type: none"> →県等が実施している既存のシニア向けの就職セミナーの情報を検討材料とし、必要となる施策の整理を行う。

議題2 重点プロジェクトについて

◆重点プロジェクト1

委員発言要旨	事業承継について、マッチングまで計画されていたが、県や商工会との役割分担どうするのか、どこまでカバーするのか。
事務局発言回答	当初は廃業予定のお店に新規創業者をぶつけてマッチングさせるといったことを検討していたが、専門的な話を聞くと、土業の方や金融機関が介入していく必要があるようだ。そのため市は情報提供に注力し、その先は茨城県事業承継支援ネットワークなどへつなぎ、適宜フォローを実施する。

委員発言要旨	<p>■事業承継の動機付けとして、税制面のメリットだけでなく、新しい商品価値や企業価値、付加価値を高めること等が動機となるよう意識を高め、今の経営資源を強くしていく、磨き上げをかける、そういう部分の支援をしていくのがよい。</p> <p>■ネットワークで把握している事業者や商工会以外の事業者で、廃業すると従業員のケアなどが不十分になる、取引先に影響がある、といった事業者を強く支援するのがよいのではないか。</p> <p>■事業承継について特に考えていない、廃業予定、後継者について特に考えていない、と答えた方の割合をみると、未来のビジョンが考えられていない経営者が多く、問題だと思う。</p>
事務局発言要旨	まだ若く健康で、事業継続できるため自分事として考えていない方が割合に表れていると推測される。一方で、そういう方も自分の商売を最終的には誰かにつないでほしい、と思っている。その層へきちんと情報提供することが必要。市では事業者意識のボトムアップを目指して、セミナー等を実施していこうと考えている。

今後の展開及び方針

- ・業種は絞らず、支援を希望する事業者に対して、随時ヒアリングを実施し、支援センターと連携しながら個別支援を進める。
- ・現経営者に対して、セミナーを開催するなど事業承継に関する意識啓発を行い、早めの取組みを促す。
- ・事業承継希望者の掘り起こしや情報発信を行う。
- ・継続的なアンケート調査によるニーズ把握を行う。

◆重点プロジェクト2

今後の展開及び方針

- ・市内にある優れたものを認定に導くため、制度認知度を向上させるとともに募集

に関する広報活動を拡充する。また、優れた内容であっても社会実装前であることを理由として認定に至らなかった事業者に対し、フォローアップを実施し、再申請に繋げる。さらに、認定品の公表・情報発信についても重きを置き、販路開拓の重点的支援に取り組む。

◆重点プロジェクト3

委員発言要旨	スタートアップを集めたイベントに工業団地企業の研究所に来ていただく、つくば発ベンチャーの IT ツールなどを商工会会員に使っていただく、逆にものづくりをお願いするというような交流の企画など、小さいところからでも連携していけるとよい。
事務局発言要旨	なし

今後の展開及び方針

- ・スタートアップパークでの定期開催イベント等において、既存事業者も気軽に交流できるような場を作り、交流を図る。
- ・商業施設でのイベント実施を含む各イベントへの出展を通じた交流促進を実施する。
- ・スタートアップ支援や創業支援、つくば Society 5.0 社会実装トライアル支援等の事業で開発した技術を広く既存事業者へ発信し、マッチング機会を増やしていく。

◆重点プロジェクト4

委員発言要旨	外国人材の雇用状況がすごく低いと感じるが、このプロジェクトは長い目で継続してほしい。
事務局発言要旨	大学の先生と話す中で、日本語能力が採用に大きく関わると聞いている。日常会話のレベルでもハードルがある場合は、採用に結び付きにくいとのこと。大学側でも人材供給にあたり、どのレベルまで教育するのか課題意識を持っており、そのあたりがマッチングの上で壁になっていると思われる。

今後の展開及び方針

- ・市内企業の採用に関するアンケート結果をもとに、就職フェアの募集対象として、特徴ある学部(スポーツ、芸術)の学生や留学生の枠を設定することが可能か検討し、多様な人材が地元事業者を選択する機会創出につなげる。
- ・筑波大学と連携して留学生の状況と市内の採用状況を共有することで、働き手と事業者双方のニーズを把握し、人材受入れに関する意識の醸成につなげる。

◆重点プロジェクト5

委員発言要旨	テレワーク関連の影響で、つくばへの移住者は増えており、住宅需要は確実に高まっている。魅力をどのようにPRしていくのが課題
事務局発言要旨	なし

委員発言要旨	広大な土地を広大なままでなく、区分けして売り買いできると良いと思う。また、研究所の空き用地について、市内中小企業複数社で使うことも可能だと思うので、随時情報をいただきたい。
事務局発言要旨	工業団地内の各企業へ、他の事業者に貸せる余剰スペース、特にウェットラボとして利用できる場所があれば教えてほしいという調査をかけている。回答によっては、既存の場のなかでもスタートアップ企業、ベンチャー企業が使える場所がある可能性もあり、データとしてまとめたいと考えている。

今後の展開及び方針

- ・事業物件・用地等のニーズ調査を実施予定のため、調査結果をもとに今後の空き用地の活用や新たな産業用地の確保につなげる。
- ・工業団地内企業の余剰スペース(研究用)貸出に関する調査結果をもとに情報収集し、情報発信することで受入環境の向上を図る。

その他

委員発言要旨	飲食店等の感染症対策について、市で一定基準を設けて、安心店舗マークなどがあるとありがたい。
事務局発言要旨	茨城県ではいばらきアマビエちゃんを推進している。市でも県に任せきりではなく、のぼり等々対応できるか考えながら感染症対策の部署と連携して進めていければと思う。
対応	のぼりやステッカーの配布等、感染症対策の関係部署と連携し、対策を検討する。

委員発言要旨	ふるさと納税について、つくば市はどう考えているのか。金額が大きいので、何か知恵を集めた方が良いのではと感じている。
事務局発言要旨	返礼品を協力していただける企業をピックアップしていくのが産業振興課として介入できる部分だが、正直そこまでリサーチできていない。付加価値の高いものがあれば、収益として上がると思われるが、知見やアドバイスなどあればお寄せいただきたい。

